| 学校番号 | ３００２ |
|---|---|

# 令和５年度　地理歴史科

| 教科 | 社会 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 実教出版　新版　世界史Ａ　新訂版 | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

史料や図版を活用し、一人でも多く生徒に興味・関心・疑問を持ってもらえるように留意し、単元ごとにポイントを絞って学習していく。世界各国の成り立ちについて、歴史的背景を捉え様々な疑問を考え解き明かしながら学習していく。各国での「点」の出来事が「線」としてつながることで世界史は面白みが生まれる。「なぜこうなったのか」「なぜ戦いは起きたのか」を考えることで、今の自分の在り方・世界の在り方を知る１つのきっかけにし、今後の人生の指針としてもらいたい。

## ２　学習の到達目標

世界の歴史に関する基本的事柄を理解したうえで、歴史の流れの中で人々はどのように考え、行動したのか、人間の生き様を知ることで過去の先人の礎を理解する。
さらに各国の成り立ちを知ることで、日本だけでなく世界に視野を広げ、物事を多角的・多面的に捉えられるようにする。歴史を「暗記」として捉えず、「１つのストーリー」であり現代に繋がる多くの要素を持った科目であると知る。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界が一体化していく中でどのような過程を辿ったか。歴史的な関心を高め、意欲的に追及する。 | 歴史的課題について、広い視野を持って、多面的・多角的に考え、文章などで表現する。 | 歴史的課題について、史料などの歴史的文献を活用し、課題を追及する。 | 世界の歴史の基礎的知識を理解し、身に付ける。 |
| 評価方法 | ・小テスト<br>・授業態度<br>・ワークシートのチェック<br>・課題、提出物の内容 | ・小テスト<br>・定期考査<br>・ワークシートのチェック<br>・ワークシートの記述課題 | ・定期考査<br>・ワークシートのチェック<br>・授業内での資料活用 | ・小テスト<br>・定期考査<br>・ワークシートのチェック |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 一学期 | ユーラシアの諸文明と交流 | ・人類の誕生と文明の発生<br>・内陸アジア世界の形成<br>・東南アジア世界の成立 | ○<br>○ | ○ | <br>○<br>○ | ○<br>○<br>○ | a:人類の進化に対する関心を高め、アジアを中心に古代文明を理解し、意欲的に考えようとしている。<br>b:人類・文明はどのように形作られていったのか考察することができる。<br>c:人類の進化や文明の起源を史料・文献を活用し、読み解くことができる。<br>d:　人類の進化や文明の起源に関する基礎的知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>課題、提出物の内容 |
| | 一体化に向かう世界と日本 | ・ユーラシアの陸と海の交流<br>・東アジアとヨーロッパ | ○<br>○ | <br>○ | <br>○ | ○<br>○ | a:アジア地域の繁栄がどのようなものもたらすことになるのか関心を高め、考えようとしている。<br>b:世界が一体化に向けてどのような結びつきで進展していったのか考え、表現できる。<br>c:ルネサンス期の作品等から、当時の流れを読み解くことができる。<br>d:アジアからヨーロッパ、ヨーロッパから世界へ進出した基礎的知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>ワークシートの記述課題 |
| 二学期 | ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動 | ・ヨーロッパとアメリカの諸革命<br>・ラテンアメリカ諸国の独立<br>・東アジアの大変動 | ○<br><br>○ | ○<br>○<br> | <br><br>○ | ○<br><br>○ | a:激動のヨーロッパがアジアに対してどのような影響を与えたのか考えようとしている。<br>b:当時のヨーロッパ勢力と影響力からアジアにもたらしたことを考察することができる。<br>c:ヨーロッパとアメリカの諸革命の中で出された宣言書から革命の真意を読み取ることができる。<br>d:　ヨーロッパとアメリカの諸革命を始めとするアジアに大きな影響を与え、アジアが大きく変化していく基礎的知識を身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>授業内での資料活用 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 三学期 | 第1次・第二次世界大戦後の世界 | ・総力戦としての第一次世界大戦<br>・第二次世界大戦と世界の変容<br>・経済危機から第二次世界大戦へ<br>・冷たい戦争の時代<br>・冷戦終結への道のり | ○<br>○<br>○<br><br>○<br>○ | ○<br>○<br><br>○<br>○ | ○<br>○ | ○<br>○<br>○<br><br>○<br>○ | a:人類が初めて経験する世界大戦の意義に対して関心を高め、意欲的に学ぼうとする。<br>b:二度の世界大戦が起きることとなったことについて考え、どのような結果へとなったのか考えることができる。<br>c:世界大戦を通じて結ばれた条約から意義・影響を読み取ることができる。<br>d:世界大戦に関する基本的知識を理解し、身に付けている。 | 定期考査<br>ワークシート<br>授業内での資料活用 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。